

一般質問 市政を問う



6月11日から13日の3日間、15人の議員が登壇し、市政全般にわたる諸問題を取り上げ、当局の所信や見解をただしました。

各議員の主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

※一般質問の詳細等が載った会議録は、次の定例会までに第1庁舎の行政情報コーナーに備え付けますので、ごらんください。



薩摩 博
(よねしろ会)

四小、二ツ井統合小 建設と木材産業振興

質問 木材で建設される2校には、かなりの数量の木材が必要であり、建設に当たっては原木の確保と乾燥が大前提である。発注者である市は業界団体と一体となって森林管理署に原木の確保を要望し、木材産業の振興を図るとともに地域材を使うことを明確に仕様書にうたうべきでは。

答弁 原木・丸太の確保については、今後業界の動きと一体となって取り組むことが必要と考えている。地域材を使うことを仕様書にうたうべきとのことについては、工事発注の特記仕様書は県の特記仕様書と同様とすることで考えており、地場産材の使用について、これまで同様施工業者へお願いしていく。市としては、木材の必要量確保や乾燥期間等、品質確保の観点から、実施設計がましまり次第、数量を公開することにより、円滑な供給体制の一助とすることで、思いを実現できる一歩にしたと考える。

国道101号 須田地区の整備促進

質問 須田地区は、狭隘な部分が多く歩道を通ずる地域住民や児童生徒は常に危険にさらされているのが現状。国県に対しての要望は、現道の道路改良促進よりバイパスの整備促進として働きかけるべきでは。

答弁 国道101号須田地区の道路改良には、現道拡幅案とバイパス案があつて、集約できない状況が続いていたが、平成16年7月に須田自治会長のほとんどの住民及び周辺6自治会長からバイパス建設の要望書が市長に提出された。市は同年8月に秋田県知事へ、10月に当時の八森町長、峰浜村長とともに山本地域振興局長へバイパス建設の要望を行った。その後、毎年国・県に対し早期着工を要望するとともに、必要に応じて県と市で地元と話し合いをしている。今後も、引き続きバイパスの整備促進を要望していきたい。

薩摩議員のその他の質問事項

- 秋田わか杉国体・秋田わか杉大会開催
- 後期高齢者医療制度